



東京書籍

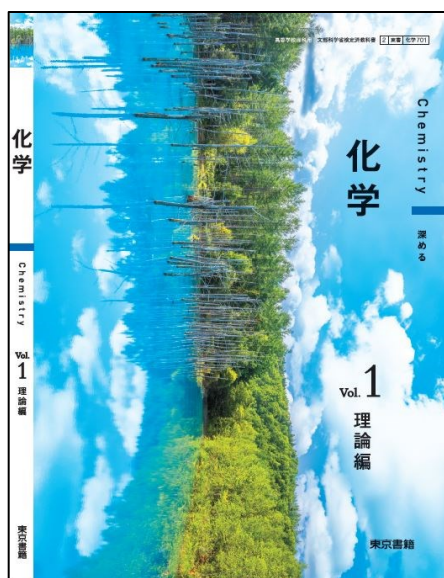
内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則っております。

東京書籍は化学教科書を 分冊化しました！

● Vol.1 理論編, Vol.2 物質編の2冊に！

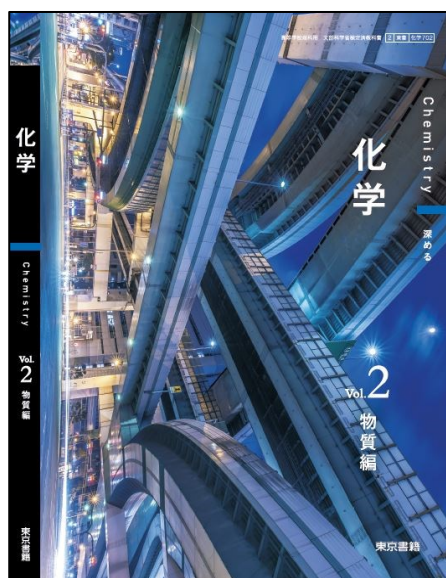
- ①探究する力を育て、自ら思考するために必要な情報量を堅持しました。
- ②使いやすさを追求し「扱いやすい分冊構成」にしました



Vol.1 理論編 (化学 701)

B5 変形(A5 ワイド)判

- 1 編 物質の状態, 2 編 化学反応とエネルギー,
3 編 化学反応の速さと平衡



Vol.2 物質編 (化学 702)

B5 変形(A5 ワイド)判

- 4 編 無機物質, 5 編 有機化合物,
6 編 高分子化合物, 7 編 化学が果たす役割

● 分冊化のメリット

①内容の区切りを明確に！

系統的な指導
が可能に！

②指導順序を柔軟に！

授業展開に合わせて、
柔軟に使えます！

③物理的な負担を軽減！

軽くなりました！

①内容の区切りを明確に！

👉系統的に指導を行うことができます。

Vol.1 理論編：**化学の理論**を学ぶ。

…1編 物質の状態, 2編 化学反応とエネルギー, 3編 化学反応の速さと平衡

Vol.2 物質編：**化学の各論(無機・有機)**を学ぶ。

…4編 無機物質, 5編 有機化合物, 6編 高分子化合物, 7編 化学が果たす役割

👉分冊間の参照にも、しっかり対応しています。

…Vol.2の各編扉には二次元コードを配置し、
関連するVol.1の章末まとめページを参照することができます。



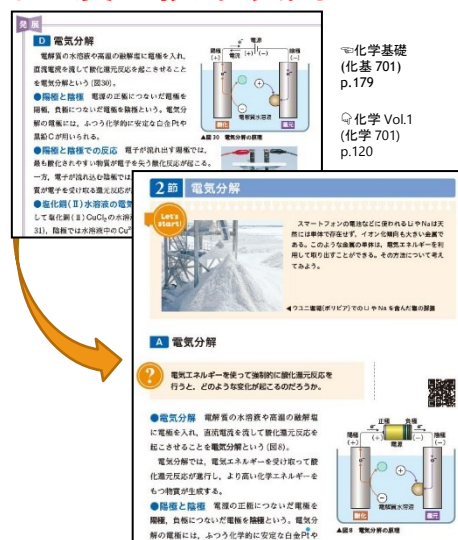
②指導順序を柔軟に！

👉内容の区切りが明確になったことにより、**学習進度や授業展開によって臨機応変に教科書を活用**できます。

ex. 化学基礎と化学を2年に設置している学校では...

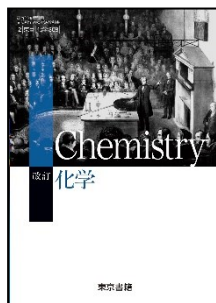
→化学基礎の学習の際、化学の教科書の必要な部分を使用しながら化学基礎の学習を深めることができます。例えば化学基礎(化基701:p.179ページ～)の酸化還元反応の学習の際は、Vol.1のp.112「2編 電池と電気分解」を使用しながら学習を深めることができます。

また基礎の学習後、各論から学習を始める場合は、Vol.2を先行して使い始めることができます。



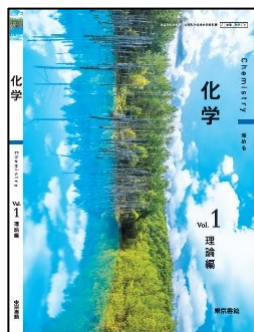
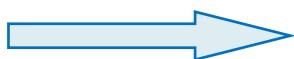
③物理的な負担を軽減！

👉分冊化によって、一冊当たりの**ページ数(重量)**が減少し、
取り扱いやすくなりました。



改訂化学(化学 308)

A5判 542ページ



化学 Vol.1 (化学 701)

B5変形判 232ページ



化学 Vol.2 (化学 702)

B5変形判 328ページ